

第3章 環境の現況と対策 令和4年度実績（速報版）

第1節 大気

■環境基準達成状況（令和4（2022）年度）

物質名	解説	評価	
二酸化硫黄	高濃度で呼吸器に影響を及ぼすほか、森林や湖沼などに影響を与える酸性雨の原因物質になると言われています。	○	
二酸化窒素	高濃度で呼吸器に影響を及ぼすほか、酸性雨及び光化学オキシダントの原因物質になると言われています。	○	
一酸化炭素	血液中のヘモグロビンと結合して酸素を運搬する機能を阻害し、人体に有害な影響を及ぼすと言われています。	○	
浮遊粒子状物質	大気中に浮遊する粒径 10 μ m 以下の粒子のことをいい、高濃度で肺や気管などに沈着して呼吸器に影響を及ぼすと言われています。	○	
光化学オキシダント	光化学スモッグの原因となり、高濃度では粘膜を刺激し、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観測されています。	×	
微小粒子状物質 (PM2.5)	大気中に浮遊する粒径 2.5 μ m 以下の微細な粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器や循環器への影響が懸念されています。	○	
有害大気汚染物質	ベンゼン	発がん性を有し、低濃度であっても、長期的な摂取により健康影響が生じる恐れのある物質です。	○
	トリクロロエチレン		
	テトラクロロエチレン		
	ダイオキシン類		
	シクロロメタン		

(注) 評価欄の「○」は環境基準達成、「×」は環境基準未達成を表す。

※ 基準値及び評価方法については、資料編(P.138～)をご覧ください。

■二酸化硫黄(SO₂)の環境基準による評価結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	短期評価				長期評価			(参考)最高値	
	1 時間値が 0.1 ppm を 超えた時間数 とその割合		日 平均値が 0.04 ppm を 超えた日数と その割合		1 日 平均値の 2%除外値	1 時間値が 0.04 ppm を 超えた日 が 2 日 以 上 連 続 した こと の 有 無	環境基準 達成状況 (達成○ 未達成×)	1 時間値	日平均値
	時間	%	日	%	ppm	有・無		ppm	ppm
双 葉	0	0.0	0	0.0	0.003	無	○	0.029	0.005
明 野 公 園	0	0.0	0	0.0	0.004	無	○	0.041	0.013
沼ノ端公園	0	0.0	0	0.0	0.002	無	○	0.033	0.005
勇 払	0	0.0	0	0.0	0.008	無	○	0.036	0.012

(環境基準評価の方法)

短期評価 1 時間値の日平均値が 0.04 ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1 ppm 以下であること。

長期評価 年間の日平均値の測定値について、測定値の高い方から 2%の範囲内にあるものを除外した値が 0.04 ppm 以下であり、かつ、日平均値が 0.04 ppm を超える日が 2 日以上連続していないこと。

■二酸化窒素(NO₂)の環境基準による評価結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	短期評価		長期評価			(参考)最高値	
	日平均値が 0.06 ppm を 超えた日数と その割合		1 日 平均値の 98%値	1 日平均値の 98% 値が 0.06 ppm を 超えた日の有無	環境基準 達成状況 (達成○ 未達成×)	1 時間値	日平均値
	日	%	ppm	有・無		ppm	ppm
糸 井	0	0.0	0.018	無	○	0.059	0.022
双 葉	0	0.0	0.021	無	○	0.050	0.027
明 野 公 園	0	0.0	0.026	無	○	0.065	0.033
沼ノ端公園	0	0.0	0.029	無	○	0.084	0.033
勇 払	0	0.0	0.012	無	○	0.040	0.019
市 役 所	0	0.0	0.023	無	○	0.049	0.029

(環境基準評価の方法)

短期評価 1 時間値の日平均値が 0.04 ppm から 0.06 ppm の範囲内、または、それ以下であること。

長期評価 年間の日平均値の測定値について、測定値の低い方から、98%に相当する値が 0.04 ppm から 0.06 ppm の範囲内、または、それ以下であること。

■一酸化炭素(CO)の環境基準による評価結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	短期評価				長期評価			(参考)最高値	
	1 時間値の 8 時間平均値 が20 ppmを 超えた回数と その割合		1 日平均値が 10 ppm を 超えた日数と その割合		1 日 平均値の 2%除外値	1 日平均値 が10 ppm を超えた日 が2 日以上 連続したこ との有無	環境基準 達成状況 (達成○ 未達成×)	1 時間値	日平均値
	回	%	日	%	ppm	有・無		ppm	ppm
糸 井	0	0.0	0	0.0	0.4	無	○	1.4	0.4

(環境基準評価の方法)

短期評価 1 時間値の日平均値が 10 ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20 ppm 以下であること。

長期評価 年間の日平均値の測定値について、測定値の高い方から 2%の範囲内にあるものを除外した値が 10 ppm 以下であり、かつ、1 日平均値が 10 ppm を超える日が 2 日以上連続していないこと。

■浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準による評価結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	短期評価				長期評価			(参考)最高値	
	1 時間値が 0.20 mg/m ³ を 超えた時間数 とその割合		1 日平均値が 0.10 mg/m ³ を 超えた日数と その割合		1 日 平均値の 2%除外値	1 日平均値が 0.10 mg/m ³ を超えた日 が 2 日以上 連続したこ との有無	環境基準 達成状況 (達成○ 未達成×)	1 時間値	日平均値
	時間	%	日	%	mg/m ³	有・無		mg/m ³	mg/m ³
糸 井	0	0.0	0	0.0	0.021	無	○	0.059	0.035
双 葉	0	0.0	0	0.0	0.027	無	○	0.112	0.046
明野公園	0	0.0	0	0.0	0.025	無	○	0.109	0.036
沼ノ端公園	0	0.0	0	0.0	0.023	無	○	0.084	0.033
勇 払	0	0.0	0	0.0	0.024	無	○	0.068	0.032
市 役 所	0	0.0	0	0.0	0.019	無	○	0.060	0.025

(環境基準評価の方法)

短期評価 1 時間値の日平均値が 0.10 mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20 mg/m³ 以下であること。

長期評価 年間の日平均値の測定値について、測定値の高い方から 2%の範囲内にあるものを除外した値が 0.10 mg/m³ 以下であり、かつ、日平均値が 0.10 mg/m³ を超える日が 2 日以上連続していないこと。

■ 光化学オキシダント(Ox)の環境基準による評価結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	環境基準評価			(参考)		注意報発令		(参考)	(参考)
	昼間の1時間値が0.06 ppmを超えた時間数とその割合		環境基準達成状況 (達成○) (未達成×)	昼間の1時間値が0.06 ppmを超えた日数とその割合		昼間の1時間値が0.12 ppmを超えた時間数とその割合		昼間の1時間値の最高値 ppm	昼間の日最高1時間値の年平均値 ppm
	時間	%		日	%	時間	%		
双葉	19	0.35	×	9	2.47	0	0	0.069	0.038
明野公園	11	0.20	×	5	1.37	0	0	0.065	0.040
沼ノ端公園	18	0.33	×	5	1.37	0	0	0.068	0.039
勇払	27	0.52	×	7	1.92	0	0	0.068	0.041

(環境基準評価の方法)

昼間(午前5時から午後8時まで)の1時間値が0.060 ppm以下であること。

(光化学オキシダントの緊急時発令基準)

環境基準とは別に、人の健康又は生活環境に被害が生じる恐れのある場合、注意報や警報の発令基準が定められています。

注意予告 0.10 ppm ・ 注意報 0.12 ppm ・ 警報 0.24 ppm ・ 重大警報 0.40 ppm

■ 炭化水素(HC)濃度の測定結果 (令和4 (2022) 年度)

測定局名	項目	年平均値	午前6時から午前9時までの3時間平均値						
			年平均値	最高値	最低値	0.20 ppmCを超えた日数とその割合		指針値超過(0.31 ppmC超過)日数とその割合	
						日	%	日	%
		ppmC	ppmC	ppmC	ppmC	日	%	日	%
沼ノ端公園	メタン	2.02	2.04	2.35	1.89	—	—	—	—
	非メタン炭化水素	0.07	0.08	0.38	0	20	5.5	3	0.8

(指針値)

非メタン炭化水素について、午前6時から午前9時までの3時間平均値が、0.20~0.31 ppmCの範囲または、それ以下であること。

■ 微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準による評価結果 (令和4(2022)年度)

測定局名	短期評価	長期評価	環境基準 達成状況 (達成○) (未達成×)	(参考)最高値		注意喚起 発令回数 回
	1日平均値の 98パーセン タイル値	1年平均値		1時間値	日平均値	
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	
糸井	14.0	6.2	○	60	19.2	0
沼ノ端公園	17.3	7.6	○	49	24.2	0

(環境基準評価の方法)
 以下の短期基準及び長期基準による評価を行い、両方を満たした場合に適合とする。
 短期基準 年間の日平均値の測定値について、測定値の低い方から98パーセンタイルに相当する値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
 長期基準 1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

■ ベンゼン (環境基準:1年平均値が $3 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること)

測定局名	R4(2022)年度の評価結果	年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
明野公園	○ 各測定局ともに環境基準を 達成しています。	0.56	0.22~1.1
沼ノ端公園		0.64	0.18~1.3

■ トリクロロエチレン (環境基準:1年平均値が $130 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること)

測定局名	R4(2022)年度の評価結果	年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
明野公園	○ 各測定局ともに環境基準を 達成しています。	0.003	<0.002~0.009
沼ノ端公園		0.010	<0.002~0.047

■ テトラクロロエチレン (環境基準:1年平均値が $200 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること)

測定局名	R4(2022)年度の評価結果	年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
明野公園	○ 各測定局ともに環境基準を 達成しています。	0.011	<0.002~0.024
沼ノ端公園		0.013	<0.003~0.029

■ ダイオキシン類 (環境基準:1年平均値が $0.6 \text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下であること)

測定局名	R4(2022)年度の評価結果	年平均値($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$)
明野公園	○ 各測定局ともに環境基準を 達成しています。	0.0081	0.0024~0.012
沼ノ端公園		0.0087	0.0043~0.013

■ジクロロメタン (環境基準:1年平均値が 150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること)

測定局名	R4 (2022) 年度の評価結果	年平均値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	濃度範囲($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
明野公園	○ 各測定局ともに環境基準を達成しています。	0.49	0.29~0.75
沼ノ端公園		0.44	0.27~0.74

法令によるばい煙及び一般粉じんの規制・指導

■大気汚染防止法に基づく立入調査結果 (令和4 (2022) 年度)

調査事業場数 (施設数)	調査結果		
	排出基準違反	届出変更未届	自主測定未実施
19 事業場 (施設)	○ 事業場	12 事業場	○ 事業場

公害防止協定の締結及び指導

■公害防止協定の遵守状況 (令和4 (2022) 年度)

締結事業所数	協定値の遵守状況	協定条項の遵守状況
35 事業所	全事業所で遵守	全事業所で遵守

第2節 水質

■ 市内河川の環境基準達成状況 (令和3(2021)年度)

(北海道調べ)

水 域 名	生物化学的酸素要求量 BOD	健康項目
別 々 川	○ 測定を行った全ての地点で 環境基準を達成しています。	○ 測定を行った全ての項目で 環境基準を達成しています。
樽 前 川		
覚 生 川		
錦 多 峰 川		
小 糸 魚 川		
苫小牧川上流		
苫小牧川下流		
幌内川上流		
幌内川下流		
安 平 川		
勇 払 川 上 流		
勇 払 川 下 流		
美 々 川		

■ 苫小牧海域の環境基準達成状況 (令和3(2021)年度)

(北海道調べ)

水 域 名	化学的酸素要求量 COD	健康項目
苫小牧海域	○ 測定を行った全ての項目で 環境基準を達成しています。	○ 測定を行った全ての項目で 環境基準を達成しています。

美々川水系の水質測定結果 (令和4(2022)年度)

(苫小牧市調べ)

水 域 名	地点No.及び 測定地点名	類 型	pH		BOD (mg/L)			DO (mg/L)		大腸菌数 (CFU/100mL)	
			最大値 最小値	最大値 最小値	75% 値	評 価	最大値 最小値	最大値 最小値	最大値 最小値		
美沢川	① 第一美々橋	-	7.5	1.0	0.9	-	10	3	480		
			6.9	<0.5			2.5	1	4		
美々川	② 松美々橋	A	7.1	1.7	0.6	○	10	4	68		
			6.9	<0.5			5.3	<1	6		
	③ 合流点下流	A	7.6	1.1	0.6	○	10	4	360		
			7.0	<0.5			3.7	<1	12		
④ 植苗橋	A	7.6	1.6	0.7	○	12	2	130			
		7.1	<0.5			6.9	1	6			

(注) 美沢川は美々川の支流であり、類型指定がされていないため環境基準値は設定されていません。

評価欄の「○」は環境基準達成、「×」は環境基準未達成を表す。

河川の水質測定結果

■ 生活環境項目の水質測定結果 (令和3 (2021) 年度)

(北海道調べ)

水域名	地点No.及び 測定地点名	類 型	pH		BOD (mg/L)			DO (mg/L)		SS (mg/L)		大腸菌群数 (MPN/mL)	
			最大値 最小値	最大値 最小値	75% 値	評 価	最大値 最小値	最大値 最小値	最大値 最小値	最大値 最小値			
別々川	① 別々橋	AA	7.3	0.5	0.5	○	12	7	49				
			7.1	<0.5			9.5	2	17				
樽前川	② 樽前橋	AA	7.4	0.5	<0.5	○	12	5	1300				
			7.2	<0.5			9.5	1	7				
覚生川	③ 覚生橋	AA	7.3	0.7	0.6	○	11	8	790				
			7.1	0.5			8.8	2	23				
錦多峰川	④ 錦岡橋	AA	7.3	0.5	0.5	○	11	11	170				
			7.1	<0.5			8.6	2	7				
小糸魚川	⑤ 小糸魚橋	AA	7.6	0.6	<0.5	○	11	5	220				
			7.2	<0.5			9.7	1	49				
苫小牧川	⑥ 王子専用 取水口	AA	7.7	<0.5	<0.5	○	12	3	49				
			7.5	<0.5			10	1	12				
幌内川	⑦ 寿橋	A	7.2	1.5	0.7	○	10	7	130				
			6.8	<0.5			8.4	4	23				
幌内川	⑧ 市浄水場 幌内取水口	AA	7.8	0.5	0.5	○	11	3	49				
			6.8	<0.5			10	<1	13				
安平川	⑨ 港橋	A	7.6	0.6	<0.5	○	8.8	5	130				
			6.9	<0.5			7.3	<1	33				
安平川	⑩ 静川橋	A	7.6	2.3	1.3	○	12	14	3,500				
			7.4	0.5			8.3	5	79				
勇払川	⑪ 勇払橋	A	7.6	0.9	0.9	○	11	15	350				
			7.5	<0.5			8.0	3	130				
勇払川	⑫ 夕振大橋	AA	7.6	1.0	<0.5	○	12	3	350				
			7.2	<0.5			10	<1	23				
勇払川	⑬ ウトナイ湖 ST-1	A	7.4	0.9	0.8	○	11	6	79				
			7.2	0.5			8.5	<1	23				
勇払川	⑭ ウトナイ湖 ST-2	A	8.3	1.3	1.2	○	12	4	5400				
			7.3	0.5			9.1	1	13				
勇払川	⑮ ウトナイ湖 ST-3	A	7.7	1.4	0.8	○	11	6	3,500				
			7.1	0.8			8.9	3	350				
勇払川	⑯ 室蘭本線 橋梁	A	8.6	1.2	0.8	○	12	8	3,500				
			7.2	0.7			10	2	49				
美々川	⑰ 沼の端橋	A	8.1	0.8	0.8	○	13	14	2,400				
			7.5	<0.5			9.7	3	49				
美々川	⑱ 松美々橋	A	7.4	1.5	0.8	○	10	3	170				
			7.0	<0.5			6.3	1	33				
美々川	⑲ 美々橋	A	7.4	0.9	0.9	○	11	3	170				
			7.0	0.5			6.7	1	33				
美々川	⑳ 植苗橋	A	7.5	2.0	1.6	○	11	7	3,500				
			6.8	1.0			9.5	1	170				

(注) 1 類型欄の下線(A など)は、環境基準地点(環境基準の維持達成状況を把握するための測定点)であることを示す。なお、参考として、環境基準地点以外の評価も行っている。

2 評価欄の「○」は環境基準達成、「×」は環境基準未達成を表す。

■健康項目の測定結果 (令和3(2021)年度)

(北海道調べ) 単位: mg/L

項目 (環境基準)	別々川	幌内川	安平川	勇払川		美々川		
	別々橋	港橋	勇払橋	ウトナイ湖 ST-2	室蘭本線 橋梁	松美々橋	美々橋	植苗橋
カドミウム (0.003mg/L以下)	—	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003	—	—	<0.0003
全シアン (検出されないこと)	—	—	<0.1	—	—	—	—	—
鉛 (0.01mg/L以下)	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	<0.005
六価クロム (0.05mg/L以下)	—	—	<0.02	—	—	—	—	—
ヒ素 (0.01mg/L以下)	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	—	<0.005
総水銀 (0.0005mg/L以下)	—	<0.0005	<0.0005	—	<0.0005	—	—	<0.0005
ジクロロメタン (0.02mg/L以下)	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (0.002mg/L以下)	—	—	<0.0002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (0.004mg/L以下)	—	—	<0.0004	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (0.1mg/L以下)	—	—	<0.01	—	—	—	—	—
トリス-1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L以下)	—	—	<0.004	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (1mg/L以下)	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (0.006mg/L以下)	—	—	<0.0006	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (0.01mg/L以下)	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (0.01mg/L以下)	—	—	<0.0005	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (0.002mg/L以下)	—	—	<0.0002	—	—	—	—	—
チウラム (0.006mg/L以下)	—	—	<0.0006	—	—	—	—	—
シマジン (0.003mg/L以下)	—	—	<0.0003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (0.02mg/L以下)	—	—	<0.002	—	—	—	—	—
ベンゼン (0.01mg/L以下)	—	—	<0.001	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (10mg/L以下)	0.38	—	—	—	—	6.5	7.5	3.0
1,4-ジオキサン (0.05mg/L以下)	—	—	<0.005	—	—	—	—	—

(注) 結果は最大値を表示。

海域の水質測定結果

■ 生活環境項目の水質測定結果 (令和3(2021)年度)

(北海道調べ)

海域名	類型	pH		COD (mg/L)			DO (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	油分 (mg/L)
		最大値 最小値	最大値 最小値	75% 値	評価	最大値 最小値	最大値 最小値	最大値 最小値	
苫小牧海域 (1)	C	8.0 7.7	3.2 1.3	2.1	○	10 7.9	—	—	
		8.1 7.7	3.0 1.6	2.2	○	10 7.8	—	—	
		8.1 7.7	3.3 1.4	2.2	○	10 7.6	—	—	
苫小牧海域 (2)	C	7.9 7.6	7.2 2.0	4.7	○	10 7.1	—	—	
		7.9 7.5	5.4 0.9	4.0	○	10 7.1	—	—	
苫小牧海域 (3)	C	8.1 7.6	3.1 1.6	2.3	○	11 8.3	—	—	
		8.1 7.6	3.0 1.7	2.6	○	11 8.1	—	—	
		8.1 7.7	2.9 1.3	2.7	○	11 7.7	—	—	
苫小牧海域 (4)	C	8.1 7.7	3.2 1.3	2.8	○	11 8.1	—	—	
苫小牧海域 (5)	C	8.1 7.6	3.0 1.4	2.8	○	10 7.1	—	—	
苫小牧海域 (6)	B	8.1 7.6	6.2 1.9	2.8	○	10 7.7	—	<0.5	
苫小牧海域 (7)	B	8.1 7.6	2.8 0.8	2.5	○	10 8.1	—	<0.5	
		8.1 7.6	3.1 1.2	2.6	○	10 7.8	—	<0.5	
		8.1 7.7	3.2 1.0	2.1	○	10 8.0	—	<0.5	
		8.1 7.7	2.6 0.9	2.2	○	11 8.0	—	<0.5	
		8.1 7.8	3.1 1.0	2.6	○	11 8.1	—	<0.5	
		8.1 7.6	3.1 0.8	2.7	○	11 7.8	—	<0.5	
苫小牧海域 (8)	A	8.1 7.6	1.8 0.8	1.6	○	10 8.1	<0 <0	<0.5	
		8.1 7.7	3.4 0.9	1.6	○	11 8.1	<0 <0	<0.5	
		8.1 7.7	1.7 0.7	1.5	○	10 8.0	<0 <0	<0.5	
		8.1 7.7	2.5 0.8	2.0	○	11 7.8	<0 <0	<0.5	
		8.1 7.7	2.2 1.0	1.7	○	10 7.9	<0 <0	<0.5	

(注) 評価欄 「○」は環境基準達成、「×」は環境基準未達成を表す。

■健康項目の測定結果 (令和3(2021)年度)

(北海道調べ)

項目 (環境基準)	海域(1)			海域(2)	海域(3)	
	地点 29	地点 30	地点 31	地点 22	地点 24	地点 26
カドミウム (0.003mg/L以下)	0.0024	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—
全シアン (検出されないこと)	<0.1	—	<0.1	<0.1	<0.1	—
鉛 (0.01mg/L以下)	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
ヒ素 (0.01mg/L以下)	<0.005	—	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
総水銀 (0.0005mg/L以下)	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—
1,3-ジクロロプロペン (0.002mg/L以下)	—	—	<0.0002	<0.0002	—	<0.0002
チウラム (0.006mg/L以下)	—	—	<0.0006	<0.0006	—	<0.0006
シマジン (0.003mg/L以下)	—	—	<0.0003	<0.0003	—	<0.0003
チオベンカルブ (0.02mg/L以下)	—	—	<0.002	<0.002	—	<0.002
ベンゼン (0.01mg/L以下)	—	—	—	—	—	<0.001
セレン (0.01mg/L以下)	—	—	—	—	—	<0.002
1,4-ジオキサン (0.05mg/L以下)	—	<0.005	—	—	—	—

項目 (環境基準)	海域(4)	海域(5)	海域(6)	海域(7)
	地点 27	地点 28	地点 21	地点 13
カドミウム (0.003mg/L以下)	<0.0003	<0.0003	—	—
全シアン (検出されないこと)	<0.1	<0.1	—	—
鉛 (0.01mg/L以下)	<0.005	<0.005	—	—
ヒ素 (0.01mg/L以下)	<0.005	<0.005	—	<0.005
総水銀 (0.0005mg/L以下)	<0.0005	<0.0005	—	—
1,3-ジクロロプロペン (0.002mg/L以下)	—	—	<0.0002	—
チウラム (0.006mg/L以下)	—	—	<0.0006	—
シマジン (0.003mg/L以下)	—	—	<0.0003	—
チオベンカルブ (0.02mg/L以下)	—	—	<0.002	—
ベンゼン (0.01mg/L以下)	—	—	<0.001	—
セレン (0.01mg/L以下)	—	—	—	—
1,4-ジオキサン (0.05mg/L以下)	—	—	—	—

(注) 全ての項目において、環境基準を達成。

■ 公害防止協定の遵守状況 (令和4(2022)年度)

締結事業場数	協定値の遵守状況	協定条項の遵守状況
22 事業場	全事業場で遵守	全事業場で遵守

第3節 騒音・振動

■環境基準及び要請限度との比較 (令和4(2022)年度)

区 分	時 間 帯	環境基準及び要請限度の適否
環 境 騒 音	昼間(6~22時)	○ 全ての測定地点で環境基準を達成しています。
	夜間(22~翌日6時)	
自 動 車 騒 音	昼間(6~22時)	△ 一部の測定地点で環境基準を超過していました。
	夜間(22~翌日6時)	
道 路 交 通 振 動	昼間(8~19時)	○ 全ての測定地点で要請限度を達成しています。
	夜間(19~翌日8時)	
航 空 機 騒 音	全 日	○ 全ての測定地点で環境基準を達成しています。

■環境騒音測定結果 (令和4(2022)年度)

単位:デシベル

地 点 名 (用途地域区分)	環 境 基 準		測 定 結 果		環 境 基 準 達 成 状 況		地 域 の 類 型
	昼間	昼間	夜間	夜間	昼間	夜間	
のぞみ町 (第1種中高層住居専用地域)	60	55	44	43	○	○	A
豊川町 (第1種中高層住居専用地域)	60	55	51	46	○	○	A
末広町 (第1種住居地域)	65	60	45	44	○	○	B
北栄町 (第2種住居地域)	65	60	49	46	○	○	B
旭町 (商業地域)	65	60	48	45	○	○	C
字勇払 (準工業地域)	65	60	46	41	○	○	C

(注) 測定値は時間帯区分ごとの等価騒音レベルから算出。

■自動車騒音測定結果 (令和4 (2022) 年度)

単位:デシベル

道路名	測定地点	車線数 道路端 からの 距離(m)	環境基準 (要請限度)		測定結果		環境基準 達成状況	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
国道36号苦小牧白老通(新中野)	末広町 3	6(6.4)	70 (75)	65 (70)	70	66	○	△
国道36号苦小牧白老通(元-旭)	矢代町 1	4(1.4)			72	67	△	△
国道36号苦小牧白老通(錦岡)	字錦岡 647	4(4.2)			68	63	○	○
道道781号勇払沼ノ端通	字沼ノ端 42	2(2.2)			70	64	○	○
道道781号双葉三条通(ときわ-木場)	しらかば町 5	6(1.3)			67	58	○	○
市道糸井西通	川沿町 6	4(0.4)			63	55	○	○

(注) 1 測定値は、2日間連続測定した時間帯区分ごとの等価騒音レベルから算出。

2 環境基準達成状況欄で「○」は達成、「△」は環境基準値超過要請限度以内、「×」は環境基準値及び要請

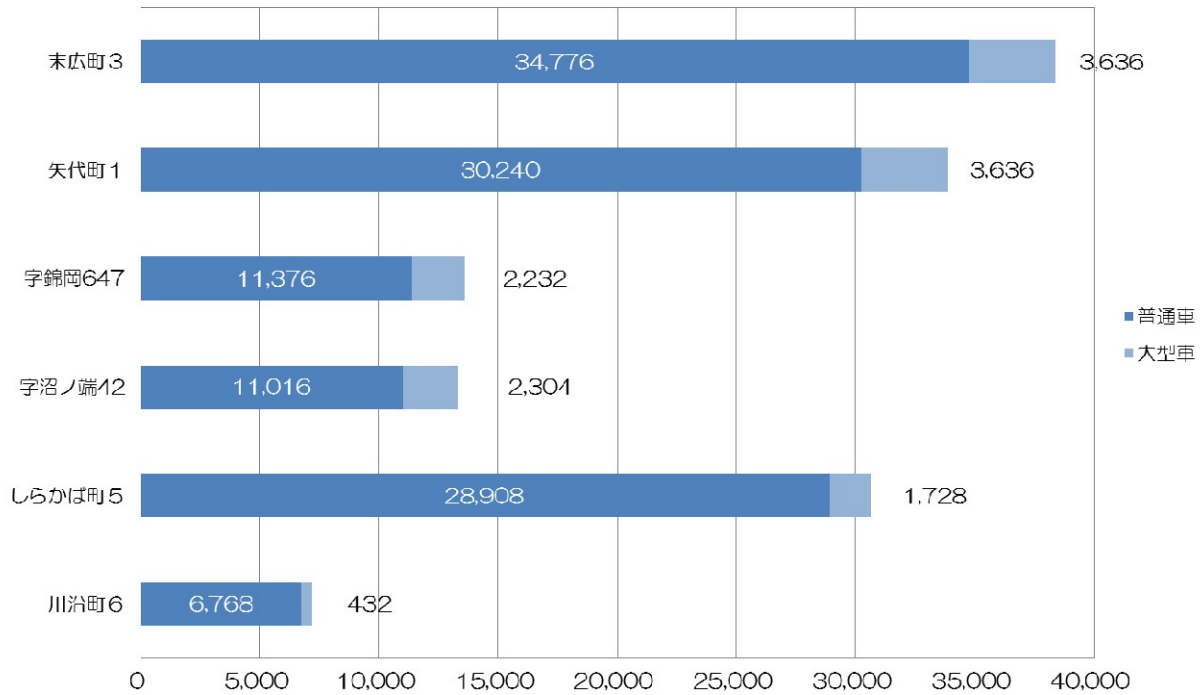
■道路交通振動測定結果 (令和4 (2022) 年度)

単位:デシベル

道路名	測定地点	要請限度		測定結果	
		昼間	夜間	昼間	夜間
国道36号苦小牧白老通(新中野)	末広町 3	70	65	51	44
国道36号苦小牧白老通(元-旭)	矢代町 1	65	60	43	36
国道36号苦小牧白老通(錦岡)	字錦岡 647	65	60	40	32
道道781号勇払沼ノ端通	字沼ノ端 42	70	65	50	39
道道781号双葉三条通(ときわ-木場)	しらかば町 5	65	60	47	37
市道糸井西通	川沿町 6	65	60	42	31

■ 交通量調査結果 (令和4(2022)年度)

単位: 台



(注) グラフの値は、平日12時間交通量台数

■ 面的評価による自動車騒音環境基準適合状況 (令和4(2022)年度)

	評価 区間 延長 距離 (km)	評価 区間数 (区間)	評価 対象戸数 (戸)	評価結果				
				昼夜とも 基準値 以下(戸)	昼のみ 基準値 以下(戸)	夜のみ 基準値 以下(戸)	昼夜とも 基準値 超過(戸)	
全体(割合)	116.8	60	16,195 (100%)	15,616 (96.4%)	6 (0.0%)	288 (1.8%)	285 (1.8%)	
道路別 内訳	高速自動車道	5.8	3	18	4	0	0	14
	一般国道	31.7	14	2,798	2,671	5	20	102
	道道	40.5	14	4,233	3,835	0	250	148
	4車線以上の市道	38.8	29	9,146	9,106	1	18	21

■ 航空機騒音常時監視地点及び常時監視測定結果 (令和4(2022)年度)

苫小牧市測定				北海道測定							
No.	測定局名	測定結果	評価	No.	測定局名	測定結果	評価	No.	測定局名	測定結果	評価
1	植苗会館局	49	○	A	植苗局	56	○	G	勇払局	49	○
2	丹治沼局	57	○	B	ウトナイ局	50	○	H	沼ノ端東雲局	52	○
3	琥珀荘局	51	○	C	美沢局	46	○	I	勇払東局	49	○
4	沼ノ端東局	53	○	D	湖畔局	57	○	単 位：デシベル (Lden) 環境基準：沼ノ端局 57デシベル それ以外 62デシベル			
5	沼ノ端局	50	○	E	斎藤宅局	44	○				
6	糸井局	35	-	F	植苗公園局	52	○				

第4節 悪臭

■臭気パトロールの実施状況

実施年度	実施回数	調査地点数	調査地域
令和4（2022）年度	4回	8地点	勇払方面、苫小牧市中心街

■事業場の敷地境界線における調査結果（令和4（2022）年度）

測定項目	（参考） 敷地境界 における 規制基準値 （ppm）	肥料製造 A事業所			
		7月14日	評価	3月15日	評価
プロピオン酸	0.03	0.0015	○	0.0006	○
ノルマル酪酸	0.001	0.0029	×	0.0015	×
ノルマル吉草酸	0.0009	0.0007	○	不検出	○
イソ吉草酸	0.001	不検出	○	不検出	○

（注） 評価欄「○」は規制基準適合、「×」は規制基準不適合を表す。

第5節 公害苦情

■ 公害苦情の種類別件数と主な申立内容 (令和4(2022)年度)

公害の種類	件数	申立内容(一例)
大気汚染	21件	薪ストーブや野焼き行為の煙など
騒音・振動	21件	工事現場の騒音・振動、近所からの騒音、航空機騒音など
悪臭	12件	一般家庭、事業場からの臭気など
その他	0件	—
合計	54件	